

## ◆「学界情報 国際会議レポート」の記事募集のお知らせ◆

産業応用部門ニュースレターにおいて掲載しております「学界情報 国際会議レポート」では、多くの皆様に国際会議をご紹介いただくことを目的とし、国際会議レポートを下記の要領で公募させていただくことになりました。皆様のご応募をお待ちしております。

**公募対象**：原則として電気学会会員とします。

**公募方法**：電子メールにて、下記送付先に数行程度の会議紹介文を送付してください。

**送付先(記事公募共通アドレス)**：iaedit(at)iee.jp

**掲載可否**：産業応用部門編修広報委員会で審議の上、掲載の可否をご連絡します。ただし、掲載原稿の著作権は学会に帰属し、文責は投稿者が負うものとします。

**掲載先**：産業応用部門ホームページ、または産業応用部門ニュースレター（ニュースレターは原則、1ページ）

**公募期間**：国際会議開催前、または開催後1ヵ月まで

## 編集後記

まもなく、東日本大震災から3ヶ月経ちます。

被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。まだまだ困難な課題が多数残っていますが、皆さんの努力で復興も少しずつ進んでいます。これからも力を合わせて頑張っていきましょう。

さて、今月の巻頭言は、産業応用部門 総務企画担当を務めている東京工芸大学の松井先生より、今年度の部門事業計画の要点について、ご提言を頂きました。

技術開発レポートは、サンメディカル技術研究所の北爪様から体内植え込み型補助人工心臓システムの開発について寄稿いただきました。医療手段は少なく治療が困難である心不全に対して大きな貢献を期待します。

学会情報では、3月に Fort Worth, Texas で行われた APEC2011 のレポートを、芝浦工業大学の Rizqianwan 様、Tuyen

様、藤田先生にご執筆いただきました。26年間の歴史を持った、現場主義の国際会議で、約2500人が訪れました。

研究グループ紹介では千葉工業大学の関先生に研究室をご紹介いただきました。高齢者及び身体の不自由な方々の生活を支援するための様々な技術の開発について、又は研究室の生活について執筆いただきました。

今年、沖縄県琉球大学で開催される部門大会も近づいてまいりました。論文は投稿していただきましたでしょうか。大会の案内及び参加申込を掲載しています。皆様、奮って御参加ください。

最後になりますが、御多忙中にもかかわらず、記事を御執筆いただいた皆様、編集作業に携わっていただいた多くの皆様の御協力に心より厚く御礼申し上げます。

エディタ ルベン・インスンサ  
(東芝三菱電機産業システム)

※ 本文中の E-mail アドレスをご利用になる場合には、“(at)”を“@”に置き換えて下さい。